



校長通信

令和3年度25号 令和4年3月23日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

いよいよ明日は、令和3年度の終業式です。今年度も、コロナ対策の制限を受けながら、また、水管橋の崩壊による断水など、思わぬハプニングに見舞われながらも、子供たちは、前向きに、学校生活を送ってくれました。

保護者の皆様には、この1年間、河北中学校の取組にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございました。春休みは、新たな学年に進級する準備の期間です。各ご家庭で、令和3年度を振り返りながら、次年度に向けて、取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

《令和3年度卒業式を挙行了しました》

3月8日、やわらかい春の日差しの中、本校体育館において、令和3年度、第75回卒業式を挙行了しました。今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来賓の方々のご臨席を賜ることなく、保護者の方も、各家庭から1名のみの出席をお願いし、在校生は、送辞を読む生徒1名のみの出席という体制で行いました。しかしながら、卒業生は、ほどよい緊張感を漂わせながら、終始、立派な姿勢で式に臨んでくれました。



卒業生の歌「正解」も、本来であれば、すばらしいハーモニーで合唱するところですが、歌唱練習が制約されている中、式では、楽曲をCDで流し、卒業生は、起立して、発声せず、心で歌うという形で行いました。ピアノ伴奏は、卒業生代表が実際に弾いてくれました。

私は、彼らの心の歌声を、心の耳でしっかりと聞き取ったつもりでいます。「正解」の歌詞に、「ああ 答えがある問いばかりを 教わってきたよ だけど明日からは 僕だけの正解をいざ 探しにゆくん だ また逢う日まで」とあります。学校での学習は、確かに、答えがある問題を解くことが多いと思います。しかし、答えのある問いの回答を自ら解いていくことが、答えのない問いの、自分なりの答えをみつけていく力の礎になるのではないかと思います。卒業生の、これから自分なりの答えを見つけていく壮大な旅路を、時には休憩もいれながら、たくましく突き進んで行ってくれることを切に願っています。

※訂正とお詫び

校長通信24号で、「育友会生徒指導部の方々が、部長さんを中心に、定期的に、朝、校門に立って、登校してくる子供たちに、笑顔で、挨拶をしてくださっています。」と記載しましたが、正しくは、育友会生活指導部です。また、生活指導部以外の会員の方々もご協力いただいていたいました。ここで、訂正するとともに、お詫び申し上げます。

また、来年度も、子供たちに明るい温かい挨拶のシャワーを浴びせにきていただけたら幸いです。